



Contents

- 1: シェアってなんだろう？
- 2: なにをシェアしているのかな？
- 3: シェアはハッピーのシェアにもつながる
- 4: 世界にはユニークなシェアがいっぱい
- 5: シェアはだれとでもできる？
- 6: 見えないものをシェアする
- 7: 未来とシェアするってどういうこと？



Volume.7

LOVE

1

WHAT DOES IT MEAN TO SHARE?

“シェア”ってなんだろう？

“シェア”という言葉聞いたことはあるかな？ シェアとは日本語で「分ける」とか「共有する」ということ。みんなで同じものを使ったり、ものを貸し借りしたりすることもシェアのひとつ。ひとつのものを多くの人とシェアすることで、ひとりひとりが新しいものを買わなくてもよくなるから、大切な資源をむだに使わず、ゴミを減らすことにもつながるんだ。

いっしょに
読もう！

2

THINGS we can share.

くらしのなかでなにをシェアしているのかな？

たとえば、図書館。図書館にある本をすべて買おうと思ったら大変なことになるけど、みんなでシェアすることでたくさんの本にふれられる。図書館はシェアを利用したすばらしいしくみなんだ。それから学校にある遊び道具、教室だってクラスみんなとシェアしているよね。学校以外の場所でも友だちとゲームのソフトやマンガなんかも貸し借りしてるんじゃないかな？

いっしょにあそぼう



3

シェアはハッピーのシェアにもつながる

シェアする気持ちがあれば、相手の人が感じるハッピーな気持ちや時間もシェアすることになる。食事だって、近所の友だち家族と一緒にしてみてもいいだろう？ 料理の数は倍になるし、みんなで楽しく食べられるから、ごはんもいっそうおいしくなるよ。

SHARE = HAPPY

シェアすると、
みんながハッピーになることが
まだまだありそうだね！



4

Sharing is fun, unique & creative!

世界にはユニークな シェアがいっぱい

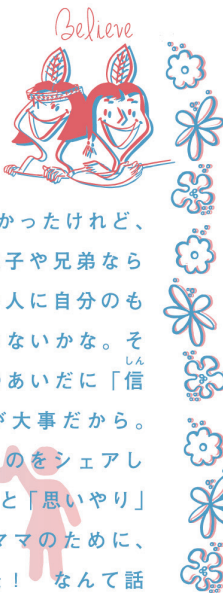
世界では新しいシェアのかたちが生まれていて、シェアすることでよりよいくらしを実践している人たちがいます。たとえば、家をシェアする「シェアハウス」。家族ではない人たちが一緒にくらし、情報やものを交換して助けあってくらすかたち。また、長いあいだ家を留守にするときに、その期間だけ家を貸すことも海外ではよくおこなわれています。ほかにも車をシェアする「カーシェアリング」。自転車をシェアできる町もふえています。自分で所有しなくても、必要なときにだけ使えるシェアのしくみは、本当に必要なものはなにかを考えるきっかけにもなります。



5 We need to TRUST to share.

シェアはだれとでもできる？

いろんなものをシェアできることがわかったけれど、だれとでもシェアできると思う？ 親子や兄弟なら気にならないけど、まったく知らない人に自分のものを貸すには、少し抵抗があるんじゃないかな。それはシェアには、シェアする相手とのあいだに「信頼」と「思いやり」があるかどうかが大事だから。昔の人は近所や地域の人といろんなものをシェアしてくらしていたけど、そこには「信頼」と「思いやり」があったんだね。おっぱいが出ないママのために、近所のママがおっぱいを貸してあげた！なんて話も、シェアのひとつだね。



SHARING THE FUTURE!

未来とシェアするって ということ？



私たちは「いま」という時間をおして、未来とさまざまなシェアをしている。だからもし私たちが地球の自然を破壊しつづけたら、未来の人も動物も植物もこの地球で生きられなくなってしまうかもしれない。いま、世界全体で地球1.5個分の資源を使っているといわれるけれど、それは未来の資源を前借りしてなりたっているということなんだ。これを反転させるためにも、アメリカ先住民のイロコイ族が7世代も先の子孫のことを考えているようなことを決めていたように、ひとりひとりが未来のことを考えて、責任ある行動をすることがとても大事なことなんだよ。



6

WE ALREADY SHARE AIR & OTHER THINGS WE DON'T SEE.

見えないものをシェアする

目に見えないシェアのひとつは、空気。地球上のすべての生きものとシェアしているよね。それに空気は、その空間に存在するすべてのもののエネルギーの影響で変化する。悲しい人がいる空間は、なんだか悲しい気持ちになるし、楽しい空間にはハッピーなエネルギーがうずまいている。つまり私たちは空間をおしてエネルギーもシェアしているんだ。知識や文化も目には見えないシェアのかたち。パパやママ、おじいちゃんやおばあちゃん、学校の先生から教えてもらう知識だって、人から人へシェアしているんだよ。



from patagonia

パタゴニアより



日本でくらす私たちの生活は大変豊かになりました。これまで家族や地域でシェアしていたものを個人が所有する時代になり、その反面、過剰にものを消費してゴミが増え、さらには家族や地域との関係が少しずつ薄れていきました。本来、つながりあっていたものが分断されつつあるいま、あらためてシェアについて考え、シェアすることで、もう一度家族や地域、未来とのつながりを取り戻してほしい。そして知識や文化、習慣を共有し、つながりあえる感覚を取り戻すことができたなら…それはすばらしいことだとパタゴニアは考えます。

"YOU ARE PART OF IT."

あなたもこの経済の一部です。新しいものを買わなくても、あなたのニーズを満たすことができるはずです。身のまわりのものでもシェアできるものはたくさんあります。これまでに紹介したパタゴニアのレスポンシブル・エコノミーの取り組みをおして、本当に必要なものに囲まれた生きかたを一緒に実践していただけたらと思います。

DESIGN: JERRY UKAI

patagonia

環境に与える影響を 最小限にしたものづくり

1973年、アメリカ・カリフォルニア州ベンチュラで設立。アルパインからサーフィンまでの丈夫で機能的なウェアを製造・販売する。『最高の製品を作り、環境に与える不必要な悪影響を最小限に抑える。そして、ビジネスを手段として環境危機に警鐘を鳴らし、解決に向けて実行する』というミッション・ステートメントのもとに製品づくりをしている。

Patagonia 2014 Spring&Summer Collection



Boys' Polarized Graphic Tee
#62450 ¥4,000 (税抜)

水のなかでも外でも活躍する、涼しい着心地のポリエステル・ジャージー 100%のTシャツ。UPF20で肌を日差しから保護してくれる。



Baby Baggies Jacket
#60286 ¥7,500 (税抜)

速乾性を備え、風や小雨に対応するDWR(耐久性撥水)加工を施したサプレックス・ナイロン製のベビー用フード付きウインドブレーカー。



Kids' Trucker Hat
#66031 ¥2,800 (税抜)

どこへでも一緒にとおとする、調節可能なキッズ用の帽子。素材はオーガニックコットン・キャンバスとポリエステル・メッシュを使用。

オンラインショップで全製品をご覧ください。patagonia.com/japan

【お問い合わせ】パタゴニア日本支社 カスタマーサービス ☎ 0088-252-252